

<認知症対応型共同生活介護用>
<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	項目数
1. 理念の共有	8
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	1
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	0
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	5
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	6
1. その人らしい暮らしの支援	4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	20

事業所番号	1472300480
法人名	有限会社 あしすと
事業所名	グループホーム はーもにー
訪問調査日	平成 23 年 10 月 13 日
評価確定日	平成 23 年 11 月 30 日
評価機関名	株式会社R-CORPORATION

○項目番号について

外部評価は20項目です。
「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法

〔取り組みの事実〕
ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
〔次ステップに向けて期待したい内容〕
次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
家 族 = 家族に限定しています。
運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1472300480	事業の開始年月日	平成14年9月1日
		指定年月日	平成14年9月1日
法人名	有限会社 あしすと		
事業所名	グループホーム はーもにー		
所在地	(250-0051) 神奈川県小田原市北ノ窪395-1		
サービス種別 定員等	☐ 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
	☒ 認知症対応型共同生活介護	定員 計	18 名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	平成23年10月1日	評価結果 市町村受理日	平成23年12月28日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

日常生活能力が低下しても、住み慣れた環境の中で利用者の方々がいっまでも安心して生活して頂ける様、スタッフ一同、介護の力を信じて医療や地域の方々のご理解・ご協力の下、「諦めない介護」を開所以来実践しています。また、日々の生活環境や業務も現状に合わせ都度現場のスタッフと相談しながら改善することに努めております。今年度より「身体拘束廃止推進モデル施設」としての取り組みをスタートし、事業所の枠を超え法人全体で取り組みを進め、スタッフと共に「ケアの質の向上」に向け更なる努力を続けながら地域にも発信して行きたいと想って居ります。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 S Yビル2F		
訪問調査日	平成23年10月13日	評価機関 評価決定日	平成23年11月30日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

I. このホームは小田原市の北端に位置し、近隣生活圏では小田原市と南足柄市両市にまたがっている。このホームの素晴しさは前回評価でも述べたように随所の工夫が為されている点である。具体的には①戸があって目立たない記録スペース ②戸が付けられた洗濯機設置場所 ③ご利用者の洗った食器の再洗浄の為の食器洗浄器 ④迂回し、門へ到達する時間がかかる通路 ⑤プライバシーにも配慮しパブリックゾーンとプライベートゾーンの区別 ⑥将来必要となる成年後見制度対応を見据えた居宅介護事業所の併設 ⑦1次計画素案作りに時間をかけないケア計画ソフトの活用(勿論カンファレンスで最終計画は充分検討する) ⑧非常時、不審者対応にCOCOセコムへの加入 ⑨パート評価体制、ステップアップ、昇給制度を確立 ⑩新型インフルエンザ等緊急対応セットの常備等アイデア と工夫が多々あり、これにより重点的な厚いケアと理念「あきらめない介護」の実現を目指している。昨年、事業の継続を目指し、次代を担う若い管理者を指名し、新管理者は意欲を持ってこの1年間を展開している。

II. 新管理者設定の効果は、1つには若返りがある。職員と管理者の距離が近くなった点、それに社長では恐れ多くて云えないことが気軽に言える点などである。社長は新管理者の意欲を後方支援しつつ、1つ上の次元で事業の拡大と地域福祉に尽力し、差当たり2階に開業している居宅介護支援事業所に本拠を移し、先ずは居宅介護事業所の充実と(有)あしととの関連事業全体の俯瞰を実施している。アイデア豊富であきらめない介護の普遍化のマインドを持つ社長がそれだけで終るとは考えられず、次の福祉に於ける展開に期待している。

III. 今回、関連の「グループホームめろでい」と共に県の『身体拘束モデル施設』を受託した。資格要件として、関係者(介護実務者)3名が5日間の研修を受ける事、進め方計画書を提出する事、次年度の研修で事例発表する事などである。ホームとしてはこの研修及びホーム内での展開を単に拘束問題のみに止めず、ケア全体の問題としてとらえ、利用者さんの想いと尊厳を引き出せるような介護を目指して行きたいと考えている。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ～ 14	1 ～ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ～ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ～ 35	9 ～ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ～ 55	14 ～ 20
V アウトカム項目	56 ～ 68	

事業所名	グループホーム はーもにー
ユニット名	ｂ

Ⅴ アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

事業所名	グループホーム はーもにー
ユニット名	ｂ

Ⅴ アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域の中で一人ひとりが安心して生活が送れるような環境をつくる為、社員会議やミーティングなどで話し合い方向性・考え方を決め、事業所及び法人全体で共有する取り組をしている。	理念は「あきらめない介護」であり、何か起きたら、皆で相談し、介護を持続するための努力を続けている。地域の中で一人ひとりが安心して生活が送れるような環境を作り、社員会議やミーティング等で話し合い、方向性・考え方を決め、事業所及び法人全体で共有する取り組んでいる。「あきらめない介護」と幅広い理念としている理由は、職員にその人に合わせたケアを考えともらう意味があり、小さなことからターミナルまで普遍的に通用すると考えている。	今後の継続	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地元自治会の行事や活動には積極的に参加し交流に取り組んでいる。地域の方々にも理解を得られボランティア等も含め訪問のお声を掛けて頂いている。	地元自治会の行事や活動には積極的に参加し、地域との交流に取り組んでいる。地域の方々にも理解を得られ、ボランティア等も含め訪問のお声掛けを頂いている。自治会の関連でお習字、小田原ばやし、舞踊などで来てくれたり、中学校の吹奏楽が来てくれたり、ヘルパーの実習生を受入れたり地域との交流に努めている。自治会の納涼祭には18名全員が浴衣を着て全員参加した。浴衣は好評であった。	今後の継続	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	自治会との話し合いや運営推進会議に自治会役員に委員として参加してもらうなど日常生活の内で取り組んでいる。文化祭への作品の提供や敬老会での車椅子の貸し出し要請にも対応している。地域包括支援センターからの依頼を受け、認知症サポーター養成講座の施設見学の受け入れも実施。			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	平成19年11月～定期的に行なっている。委員の皆様から積極的に意見を頂き、サービス向上に活かせる様取り組んでいる。災害発生時の対応等についても意見交換させて頂いている。	運営推進会議は、平成19年11月から定期的に行っている。（3ヶ月に1回程度のペース）各委員の方々から積極的に意見を頂き、サービスの向上に活かせるよう取り組んでいる。災害発生時の対応等についても意見交換している。	今後の継続	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	行政への情報提供や課題に向け協同して取り組むなど、地域包括センターの担当者に声掛けもしている。日頃の活動状況を理解して頂く為、行事に参加して頂くよう声掛けしている。	市町村との連携では、行政へ情報提供を行ったり課題に向け協同して取り組み、良好な協力関係ができている。地域包括支援センターの担当者にもお声掛けする等、認知症情報の普及の協力、見学会の受け入れを行っている。また、行事への参加にお誘いする等、日頃の活動状況の理解を頂く機会を設けている。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	平成22年度の県の身体拘束廃止推進モデル施設養成研修を受講しモデル施設として登録され、その取り組みを始めている。勉強会を実施するなど日常的に意識を持ち取り組み、その都度事業所及び法人全体で課題について対応策も含め話し合えるようにしている。	同じ法人の「グループホームめろでいー」と共に、平成22年度の県の身体拘束廃止推進モデル施設養成研修を受講し、モデル施設として登録され、その取り組みを始めている。勉強会を実施するなど日常的に意識を持ち取り組み、その都度事業所及び法人全体で課題について対応策も含め話し合えるようにしている。この受託を単に拘束問題のみに止めず、ケア全体の問題として捉え、ご利用者の想いと尊厳を引き出せるような介護を目指して行きたいと考えている。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	市の虐待防止対策会議に参加し、ミーティングや勉強会にてその内容をスタッフに伝えている。身体拘束とも深くかかわりがあるので、身体拘束廃止の取り組みの中で虐待防止についても対応等、日頃から事業所全体で取り組んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	事業所内に居宅支援事業所を設置し、成年後見人制度を支援できる体制を整えている。運営推進会議でも説明を行なった。（自治会内に看板を設置。研修にも参加）		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に質問を聞き取りながら説明を行なっている。また、解約の際には医師や関係者と十分な話し合いをし、その都度かみくだいた文章の内容を付け加えて説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	聞き取りをし、対策案を検討したり、運営推進会議の中でも改善につながる様、対応する体制を取っている。来園時には、声掛けを行い確認している。	ご利用者に関しては日頃の気付きを申し送り簿、カンファレンス記録に記載し、何を求めているかを検討している。月間目標を「先ず聞いてみよう、見てみよう」と定め、拘束の問題と併せて取り組んでいる。ご家族等の意見は運営推進会議や来園時に聴き取り、対策案を検討する体制を整えている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングや会議などで意見や提案を聞く機会を設け対応している。常日頃から相談等をし易い環境を作り、必要に応じてミーティングなどで話し合い共有している。	ミーティングや会議などで職員から意見や提案を聞く機会を設け、対応している。常日頃から相談等をし易い環境を作り、必要に応じてミーティングなどで話し合い共有している。ミーティングはユニット別に開催し、個人別に取り上げて職員の意見を聞き、ご利用者の為になるよう話し合っている。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	向上心を持って働ける様、研修への参加や資格取得へのサポート・アドバイス・手当での支給をする体制も取り、環境や条件の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修には出来る限り参加してもらい、報告書の伝達・確認をし実践に取り組めるように努めている。施設内でも参加した研修の内容を基に勉強会として発表を行うなどしている。日常的に適任者よりのアドバイス等をしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	県の研修会や市内GH連絡会の研修会への参加や、市内GH連絡会ではグループで研修を担当し開催するなどの活動を通じてネットワーク作りやサービスの質の向上に必要な意見交換や施設見学などの取り組みもしている。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用前には必ずご本人とお会いして、要望などをお聞きし、状況の確認を行い、安心を確保して頂ける様対応している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談に来られてご家族には、その他の情報を含めた内容を提供し、そのご家族に安心して頂ける対応に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	良く聞き取りをし、ご理解・納得して頂ける様話し合いをして見極め、ケアプラン等に反映している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活の中で教えられたり・話を聞いたり・本人の知っている事・出来る事などをよく観察しながら、それを活かしながら常に一緒に生活をしているという関係を築いてる。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	来園時にはお声掛けをして近況報告をしたり、ご家族の意見なども取り入れながら一緒にご本人の支援をしていける関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方に来園して頂いたり、連絡を取ったり、住んでいらした家や場所に行って頂き、ご近所やお友達にも会って頂いている。	ご利用者の馴染みの方に来園して頂いたり、連絡を取ったり、以前の住まいや場所を訪ねる等、ご近所の方やお友達にも会うことで関係が途切れないよう支援に努めている。対応は個人別に行い、ホームは訪問し易いように配慮している。知人に出す手紙の代筆、電話のサポートなど行っている。部屋に電話を引いている人もいる。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常生活の中で、プライバシーを守りながら利用者同士が皆で生活をしている事への関わりや楽しさを感じて貰える様、配慮しながら支え合える関係作りを支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	お見舞いや、訪問・声掛けなど、その後の対応を相談するなどして、関係を大切にしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の思い・意向を汲み取り希望に添えるよう、言葉掛けや雰囲気作りを行なっている。その希望や意向を職員が皆で把握出来る様、ミーティング等も含め都度検討し、行事や日々のケアにつなげ実施している。また、献立にも反映している。	一人ひとりに思いや意向を把握し、その方の希望に添えるように努めている。言葉掛けや雰囲気作りにも配慮し努めている。また、ご利用者の意向についてミーティングや日々の申し送り等で検討して把握に努め、イベントとして実施につなげている。また、献立にもご利用者の希望を反映させている。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個々の生活歴・個性・価値観などをご本人やご家族から確認・日常の会話や行動の対応をしながら把握するよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	出来る事・出来そうな事をする為の工夫や環境作りをしたり、日々の生活の中でどの様な変化が有かなどを見極め、情報を共有して職員全員が把握するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人・ご家族や関係者から情報提供を受け充分話し合いながら、その方らしく楽しく暮らしていける計画を立て、日々の生活を観察している。また、管理者も含め職員全員で情報を共有し、必要に応じては別ユニットや姉妹事業所・ご家族等に相談・確認等も行っている。	ご本人・ご家族や関係者から情報提供を受け、充分話し合いながらご本人が楽しく暮らしていける計画を立て、日々の生活を観察している。また、管理者も含め職員全員で情報を共有し、必要に応じては別ユニットや姉妹事業所・ご家族等に相談・確認等も行っている。介護計画ソフトを第1段階で活用し、ケースを絞り込んだ上で個人の希望、職員の意見等を勘案して最終的な介護計画を纏める体制も定着している。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録は毎日記入し、記録とは別に連絡ノートを設け様々な情報を共有出来る体制になっており、都度カンファレンスやミーティングなどをして計画の見直し等にも活用している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々に応じて柔軟なサービスや支援の多機能化に取り組んでいる。又、姉妹施設や併設の居宅支援事業所と連携して情報の提供を行ったりしながら、相談援助をする。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会の行事へ積極的に参加したり、ボランティアで書道の先生も自治会の方に来て頂いたり、地元の方々に協力を頂きながら支援している。また、地元の食品店等を利用し、利用者の方と買い物にも出掛け地域の方々にご理解を得ている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	出来るだけ希望を伺い、かかりつけ医や専門医・往診医への受診を心掛け通院援助も行っている。	往診のかかりつけ医及び医療連携で契約しているその医院の看護師が毎週1回1F、2F交互に来てくれている。出来るだけ希望を伺い、かかりつけ医や専門医・往診医への受診を心掛け通院援助も行っている。医療関連で分からない事項への相談は看護師経由で医師にも相談出来る体制となっている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	往診医の看護師とは、日常的に相談出来る体制にあり、週1回の訪問支援や緊急時の支援や対応も受けてもらい、専門的なアドバイスを受けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者の入院時は、定期的に見舞いに行き、病状等を確認したり、声掛けにて安心感を持ってもらえる様、対応している。又、病院関係者との相談や話し合いも都度行い対応している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に本人・家族の意志の確認を行いその後、ご家族の希望やDrの意見を参考にしながらスタッフも含め十分に話し合い・説明をし、方針・対応を共有しながら支援に取り組んでいる。	入居時に本人・家族の意志の確認を行いその後、ご家族の希望や医師の意見を参考にしながらスタッフも含め十分に話し合い、説明を行い、方針や対応の共有を図り支援に取り組んでいる。オンコール当番を設定をし、終末期対応時等の夜勤者の安心の対応を行っている。SPDも準備し、講習も行い、看護師から観察のポイントの指導を受けるなど研修も行っている。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ミーティング等で対応訓練をしたり、オンコール体制をとる等、随時、対応している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練・消火訓練などを行い消防署の指導を受けたり、地域の消防団の会合時に入居者の内容について説明させて頂き、施設見学に来て頂いたりして、地元自治会と連携させてもらっている。また、更に非常食の準備も行っている。	災害対策は、避難訓練・消火訓練などを行っている。前回の夜間想定訓練では自治会長に参加して頂いた。また、消防署の指導を受けたり、地域の消防団の会合時に入居者の内容について説明したり、施設見学に来て頂く等、地元自治会と連携を図っている。非常食の準備も行っている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーに配慮する様、介護の状況に合わせて言葉掛けやご本人の気持ちを大切に出来る様対応を取っている。	一人ひとりのプライバシーに配慮し、介護の状況に合わせて言葉掛けや対応をしている。契約書等にも明示に、事業所としての最優先事項として取り組み徹底を図っている。ご本人の気持ちを大切に出来る様対応を取っている。	今後の継続	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の意志を尊重しながら働きかけたり、内容を理解して頂ける様に説明（話し）を繰り返す行うなどしながら、ご本人が希望を表せる事が出来る様な環境を作り支援している。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	訴えや希望を聞き入れたり、各々の持っている能力に合わせてペースを保ち、尊重しながら過ごして頂ける様に支援・配慮している。その人らしい生活を送っていただく為に、目標を掲げ職員の意識を高めるよう努めている。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の好みや希望を取り入れ、意志を尊重しながら状況に合わせて支援している。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	買い物や食事の準備・片付け・盛りつけや彩りを工夫する等と一緒にしてもらい楽しく食事をして頂ける様に心掛けている。又、利用者の方々のお好みを聞き取り献立に取り入れたり、一人ひとりに合わせた食べやすさに対しての工夫もしている。	メニューは独自に作成され、買い物や食事の準備・片付け・盛りつけや彩りを工夫する等、ご利用者と一緒に行い、楽しく食事をして頂けるよう努めている。献立では、ご利用者の好みを取り入れる等、一人ひとりに合わせた食べやすさにも配慮している。買い物では、夕食の材料を一緒に買いに行く、他は職員が買い物に行くようにしている。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりに合った食事量を提供している。水分摂取量は意識的に行う必要がある人や形態を変えて対応する人など状況に合わせて行っている。状況に応じて医師や看護師にも相談をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口ゆすぎや・舌磨き・入れ歯の洗浄など一人一人に応じた道具やケアの方法を工夫して支援している。また、研修にも参加し嚥下体操の実施や口腔マッサージも取り入れ実施をしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりに合わせた誘導や声掛けなどで出来る限りトイレで排泄が行なえるよう対応し、オムツ使用時も状況に合わせた使い方をしプライバシーに配慮する様に心掛けて支援している。	一人ひとりに合わせた誘導（サインを見逃さない誘導）や声掛けなどで対応し、オムツ使用時も状況に合わせた使い方をし、プライバシーに配慮する様に心掛けて支援している。夜間にも誘導を実施することにより、パット不使用の人が半分位と大幅な改善が見られた。トイレには介助補助のリフトを採用している。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維の多い食品や調理法・水分補給等、毎日の食事や活動の中で工夫できる事を実施し、運動も毎日行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ご本人に希望に添った回数や時間・順番等のタイミングを図り、状態に合わせ配慮した方法で入浴を楽しんで頂ける様に対応をしている。	本人の娯楽や時間、タイミングを図りながら、体調を考慮した上、希望に添い入浴を楽しんでもらえるよう配慮した支援を行なっている。お風呂には1F、2Fともリフトを設置している。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	好きな時や、その方の状態に合わせ休息を取って頂いたり安眠休息が取れる様、冷暖房・空気清浄機・加湿器の設置をし支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	使用している薬の目的や副作用・用法・用量については理解し薬剤情報も確認できる体制を取り、支援と症状の変化に気を付けながら確認に努めている。誤薬がおきない様チェック体制を増やし、声を掛け合いながら投薬している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴やその方の能力を活かした役割分担を担って頂く。日々の買い物では、嗜好品をお聞きしたり楽しみや希望も合わせ季節感・安らぎ・潤いをもたらす様個別で支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩や買い物に出掛けたり外出希望の時はご家族の協力を得ながら支援している。又、地域行事の参加等、楽しみながら行える様支援している。	日常的に散歩や買い物に出掛け、外出希望の時はご家族の協力を得ながら支援している。また、地域行事の参加等、楽しみながら行えるよう支援している。日頃、外のベンチでの体操や外周りの掃除、水やり、ゴミ出し、買い物、公園等、外気に触れる機会を設けている。個別的に対応（コンサートに行くなど）するように努めている。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人の状況や希望により所持されたり、ご家族との話し合いで、お小遣いを預かり、希望や必要に応じ使用出来る様に支援している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	各部屋に電話を入れられる様にしてあり、使用はご本人の希望に応じて支援している。手紙等の代筆や発送もご希望に合わせ支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広めの共用空間を用意し、安らぎや潤いをもたらす様工夫し、不快や混乱を招かない配慮をし、家族的で居心地良く暮らして頂ける様支援している。	広い共用の空間があり、ご利用者に安らぎや潤いをもたらすよう、インテリアは不快や混乱・刺激等を招かない配慮され、家族的で居心地の良い暮らしを確保するよう工夫している。インテリアでは季節感を重視し、写真を中心に掲示している。習字ボランティアは1F、2Fどちらかで交流を兼ね行ったり、洗濯物たたみ等、生活に係る事を職員と一緒にやるようにしている。パブリックゾーンとプライベートゾーンを考慮した構造となっており、中央が水周りでどちらのゾーンでも生活が継続出来るのは素晴らしい。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室や食堂は開放的に利用出来るが、仕切りなどで個別に利用する事も可能になっている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	個人の物品の持ち込みや、使い慣れた好みの物を使用し、本人が安心して居心地良く過ごせる様配慮している。	居室は、個人の馴染みの物品を持ち込み、好みの物を配置し、本人が安心して居心地良く暮らせるような作りに配慮している。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	意志を尊重し声掛けや目印手すり・滑り止め等、間違いや安全に配慮し工夫している。利用者の重度化に対応し安全な介護・安心し自立した生活が送れる様、設備機器を積極的に導入している。		

事業所名	グループホーム はーもにー
ユニット名	＃

Ⅴ アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域の中で一人ひとりが安心して生活が送れるような環境をつくる為、社員会議やミーティングなどで話し合い方向性・考え方を決め、事業所及び法人全体で共有する取り組をしている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地元自治会の行事や活動には積極的に参加し交流に取り組んでいる。地域の方々にも理解を得られボランティア等も含め訪問のお声を掛けて頂いている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	自治会との話し合いや運営推進会議に自治会役員に委員として参加してもらうなど日常生活の内で取り組んでいる。文化祭への作品の提供や敬老会での車椅子の貸し出し要請にも対応している。地域包括支援センターからの依頼を受け、認知症サポーター養成講座の施設見学の受け入れも実施。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	平成19年11月～定期的に行なっている。委員の皆様から積極的に意見を頂き、サービス向上に活かせる様取り組んでいる。災害発生時の対応等についても意見交換させて頂いている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	行政への情報提供や課題に向け協同して取り組むなど、地域包括センターの担当者に声掛けもしている。日頃の活動状況を理解して頂く為、行事に参加して頂くよう声掛けしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	平成22年度の県の身体拘束廃止推進モデル施設養成研修を受講しモデル施設として登録され、その取り組みを始めている。勉強会を実施するなど日常的に意識を持ち取り組み、その都度事業所及び法人全体で課題について対応策も含め話し合えるようにしている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	市の虐待防止対策会議に参加し、ミーティングや勉強会にてその内容をスタッフに伝えている。身体拘束とも深くかかわりがあるので、身体拘束廃止の取り組みの中で虐待防止についても対応等、日頃から事業所全体で取り組んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	事業所内に居宅支援事業所を設置し、成年後見人制度を支援できる体制を整えている。運営推進会議でも説明を行なった。（自治会内に看板を設置。研修にも参加）		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に質問を聞き取りながら説明を行なっている。また、解約の際には医師や関係者と十分な話し合いをし、その都度かみくだいた文章の内容を付け加えて説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	聞き取りをし、対策案を検討したり、運営推進会議の中でも改善につながる様、対応する体制を取っている。来園時には、声掛けを行い確認している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングや会議などで意見や提案を聞く機会を設け対応している。常日頃から相談等しやすい環境を作り、必要に応じてミーティングなどで話し合い共有している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	向上心を持って働ける様、研修への参加や資格取得へのサポート・アドバイス・手当での支給をする体制も取り、環境や条件の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修には出来る限り参加してもらい、報告書の伝達・確認をし実践に取り組めるように努めている。施設内でも参加した研修の内容を基に勉強会として発表を行うなどしている。日常的に適任者よりのアドバイス等をしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	県の研修会や市内GH連絡会の研修会への参加や、市内GH連絡会ではグループで研修を担当し開催するなどの活動を通じてネットワーク作りやサービスの質の向上に必要な意見交換や施設見学などの取り組みもしている。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用前には必ずご本人とお会いして、要望などをお聞きし、状況の確認を行い、安心を確保して頂ける様対応している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談に来られてご家族には、その他の情報を含めた内容を提供し、そのご家族に安心して頂ける対応に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	良く聞き取りをし、ご理解・納得して頂ける様話し合いをして見極め、ケアプラン等に反映している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活の中で教えられたり・話を聞いたり・本人の知っている事・出来る事などをよく観察しながら、それを活かしながら常に一緒に生活をしているという関係を築いてる。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	来園時にはお声掛けをして近況報告をしたり、ご家族の意見なども取り入れながら一緒にご本人の支援をしていける関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方に来園して頂いたり、連絡を取ったり、住んでいらした家や場所に行って頂き、ご近所やお友達にも会って頂いている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常生活の中で、プライバシーを守りながら利用者同士が皆で生活をしている事への関わりや楽しさを感じて貰える様、配慮しながら支え合える関係作りを支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	お見舞いや、訪問・声掛けなど、その後の対応を相談するなどして、関係を大切にしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の思い・意向を汲み取り希望に添えるよう、言葉掛けや雰囲気作りを行なっている。その希望や意向を職員が皆で把握出来る様、ミーティング等も含め都度検討し、行事や日々のケアにつなげ実施している。また、献立にも反映している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個々の生活歴・個性・価値観などをご本人やご家族から確認・日常の会話や行動の対応をしがら把握するよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	出来る事・出来そうな事をする為の工夫や環境作りをしたり、日々の生活の中でどのような変化が有かなどを見極め、情報を共有して職員全員が把握するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人・ご家族や関係者から情報提供を受け充分話し合いながら、その方らしく楽しく暮らしていける計画を立て、日々の生活を観察している。また、管理者も含め職員全員で情報を共有し、必要に応じては別ユニットや姉妹事業所・ご家族等に相談・確認等も行なっている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録は毎日記入し、記録とは別に連絡ノートを設け様々な情報を共有出来る体制になっており、都度カンファレンスやミーティングなどをして計画の見直し等にも活用している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々に応じて柔軟なサービスや支援の多機能化に取り組んでいる。又、姉妹施設や併設の居宅支援事業所と連携して情報の提供を行ったりしながら、相談援助をする。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会の行事へ積極的に参加したり、ボランティアで書道の先生も自治会の方に来て頂いたり、地元の方々に協力を頂きながら支援している。また、地元の食品店等を利用し、利用者の方と買い物にも出掛け地域の方々にご理解を得ている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	出来るだけ希望を伺い、かかりつけ医や専門医・往診医への受診を心掛け通院援助も行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	往診医の看護師とは、日常的に相談出来る体制にあり、週1回の訪問支援や緊急時の支援や対応も受けてもらい、専門的なアドバイスを受けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者の入院時は、定期的に見舞いに行き、病状等を確認したり、声掛けにて安心感を持ってもらえる様、対応している。又、病院関係者との相談や話し合いも都度行い対応している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に本人・家族の意志の確認を行いその後、ご家族の希望やDrの意見を参考にしながらスタッフも含め十分に話し合い・説明をし、方針・対応を共有しながら支援に取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ミーティング等で対応訓練をしたり、オンコール体制をとる等、随時、対応している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練・消火訓練などを行い消防署の指導を受けたり、地域の消防団の会合時に入居者の内容について説明させて頂き、施設見学に来て頂いたりして、地元自治会と連携させてもらっている。また、更に非常食の準備も行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーに配慮する様、介護の状況に合わせ言葉掛けやご本人の気持ちを大切に出来る様対応を取っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の意志を尊重しながら働きかけたり、内容を理解して頂ける様に説明（話し）を繰り返す行うなどしながら、ご本人が希望を表せる事が出来る様な環境を作り支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	訴えや希望を聞き入れたり、各々の持っている能力に合わせペースを保ち、尊重しながら過ごして頂ける様に支援・配慮している。その人らしい生活を送っていただく為に、目標を掲げ職員の意識を高めるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の好みや希望を取り入れ、意志を尊重しながら状況に合わせて支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	買い物や食事の準備・片付け・盛りつけや彩りを工夫する等と一緒にしてもらい楽しく食事をして頂ける様に心掛けています。又、利用者の方々のお好みを聞き取り献立に取り入れたり、一人ひとりに合わせた食べやすさに対しての工夫もしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりに合った食事量を提供している。水分摂取量は意識的に行う必要がある人や形態を変えて対応する人など状況に合わせて行っている。状況に応じて医師や看護師にも相談をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口ゆすぎや・舌磨き・入れ歯の洗浄など一人一人に応じた道具やケアの方法を工夫して支援している。また、研修にも参加し嚥下体操の実施や口腔マッサージも取り入れ実施をしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりに合わせた誘導や声掛けなどで出来る限りトイレで排泄が行なえるよう対応し、オムツ使用時も状況に合わせた使い方をしプライバシーに配慮する様に心掛けて支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維の多い食品や調理法・水分補給等、毎日の食事や活動の中で工夫できる事を実施し、運動も毎日行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ご本人に希望に添った回数や時間・順番等のタイミングを図り、状態に合わせ配慮した方法で入浴を楽しんで頂ける様に対応をしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	好きな時や、その方の状態に合わせ休息を取って頂いたり安眠休息が取れる様、冷暖房・空気清浄機・加湿器の設置をし支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	使用している薬の目的や副作用・用法・用量については理解し薬剤情報も確認できる体制を取り、支援と症状の変化に気を付けながら確認に努めている。誤薬がおきない様チェック体制を増やし、声を掛け合いながら投薬している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴やその方の能力を活かした役割分担を担って頂く。日々の買い物では、嗜好品をお聞きしたり楽しみや希望も合わせ季節感・安らぎ・潤いをもたらす様個別で支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩や買い物に出掛けたり外出希望の時はご家族の協力を得ながら支援している。又、地域行事の参加等、楽しみながら行える様支援している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人の状況や希望により所持されたり、ご家族との話し合いで、お小遣いを預かり、希望や必要に応じ使用出来る様に支援している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	各部屋に電話を入れられる様にしてあり、使用はご本人の希望に応じて支援している。手紙等の代筆や発送もご希望に合わせ支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広めの共用空間を用意し、安らぎや潤いをもたらす様工夫し、不快や混乱を招かない配慮をし、家族的で居心地良く暮らして頂ける様支援している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室や食堂は開放的に利用出来るが、仕切りなどで個別に利用する事も可能になっている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	個人の物品の持ち込みや、使い慣れた好みの物を使用し、本人が安心して居心地良く過ごせる様配慮している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	意志を尊重し声掛けや目印手すり・滑り止め等、間違いや安全に配慮し工夫している。利用者の重度化に対応し安全な介護・安心して自立した生活が送れる様、設備機器を積極的に導入している。		

目 標 達 成 計 画

事業所 有限会社 あしすと

作成日 グループホームは一もに一

平成23年10月 1日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	施設管理者の変更と共に自治会役員の変更が有った為、現状の関係を保ちながら、更なる地域との関係を築く為に何を考えなければならないか。	自治会も含めた地域との関わりを改めて築き上げ、更なるご理解ご協力が頂けるよう努力し、利用者様が地域の一員として安心して生活が送れるようになる。	自治会の行事以外の活動にも、職員だけではなく利用者様と共に参加する。自治会や地域包括と連携を取り、地域の方々に認知症に対しての理解を深めて頂ける為の活動をする。	1年間
2	1	事業所の体制変更に混乱することなく、法人としての理念を念頭におき、更なるチームワークと認知症介護のプロとしての意識を高めケアの質の向上につなげる。	新体制の中、各スタッフが法人としての理念を共通理解とし、何事にも事業所及び法人全体で考え取り組みケアの質の向上につなげ、利用者様やご家族に安心して頂けるサービスの提供が出来るようになる。	スタッフと管理者が気軽に話せる関係と環境をつくり、どんな事でも皆で意見を出し合い考える事を定着させる。問題点や良い点などを、事業所内だけでなく法人として情報を共有し意見交換をする。	1年間
3	6	身体拘束廃止推進モデル施設としての役割を事業所全体で十分に理解し取り組む事で、利用者様にその人らしい充実した生活を送って頂ける様な支援やモデル施設としての取り組みを地域に発信できるようになる。	事業所全体で身体拘束が及ぼす利用者様への被害等を充分理解しモデル施設として取り組む事で、利用者様個人を尊重したその人らしい生活を送って頂ける様な支援ができる。また、その取り組みを地域に発信する。	拘束廃止に向け委員会の設立。目標を立て取り組み定期的な評価の実施。推進委員を中心に日常のケアに潜む言葉の拘束等に対し、互いにその場で注意し合える様な関係と環境を事業所全体で作っている。又、市のGH連絡会を通じ身体拘束について研修会を実施予定。	1年間
4	35	災害発生時の対応と対策。	各種災害に適した対処方法をスタッフ全員が理解し、防災に対しての意識を高めることができる。また、災害発生時には地域との連携が図れるようになる。	各種災害に備えての対策および、訓練法などを専門職に相談した上で内容を検討し実施する。定期的な設備点検、非常食等必要物品の設置。	1年間

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。